

当院の新型コロナウイルス感染症対策についてのお知らせ

埼玉動物医療センター 院長 林宝謙治

新型コロナウイルス感染症については当院でも衛生管理やスタッフの体調管理などの対策を行なっています。しかし、今後も拡大する可能性のある状況で、診療に関しても不要不急のものを減らし、感染拡大のリスクを減らす対策が必要と考えています。

以下は現時点で当院からご家族へご提案する新型コロナ感染症の対策案です。

1 不急の爪切りなどのグルーミングを目的とした来院の見合わせにご協力ください

爪切りなどのグルーミングのみでの来院は、治療や健康管理で必要なものをのぞき、不急のものに関してはしばらくの期間見合わせて頂くことをご提案します。

2 狂犬病ワクチン接種の見合わせをご検討ください

狂犬病ワクチンの接種指定期間は6月末までです。そのころまでの状況がどのようになっているのかはわかりませんが、それまで接種を見送ることで現時点での来院の機会を減らすことができますと考えます。

3 常用薬の処方郵送をご利用ください

慢性の病気で薬を常用している方は、電話で様子を伺った上で薬を郵送する、または薬のみのお受け取りができます（必要な検査での来院はのぞきます）。なお、常用薬は余裕をもって処方をうけてください。くわしくは担当医までご相談ください。

4 来院時の車内待機を推奨します

診察までの待ち時間、検査の待ち時間、会計・薬の処方までの待ち時間、いずれも駐車場でお待ちいただくことができます。受付にお申し付けいただければ、順番になりましたら携帯電話に連絡をしてお呼びします。特に混雑時には積極的にご利用ください。

5 入院中の病状が安定している動物の面会はできるだけお控えください

病状の安定している（急変の可能性などが低い）場合には、できる範囲で面会をお控え頂くようお願いいたします。病状の判断については担当医にお問い合わせください。入院中の動物の様子はお電話いただければお伝えいたします。

6 来院時にはご家族の体調についてもご配慮ください

診察日にご家族に発熱や体調不良があった場合には、ご家族の休養を優先していただき、ご来院を見合わせていただきますようお願いいたします。体調回復後も一定期間を空けてのご来院にご協力ください。予約の変更は可能な限り配慮いたします。

7 待合の環境整備にご協力ください

感染対策として、正面入りロエントランス風除室にアルコールジェルをご用意しました。来院時とお帰りの際には手の消毒にご協力ください。待合の本や雑誌は感染対策のために撤去しました。

また、換気のために猫専用待合の扉を解放しています。正面入り口も換気のために開放することがあります。来院時はキャリーケージまたはリードを必ず使用していただき、万が一の動物の脱走がないようにご協力ください。

この内容は動物医療全体の見解ではなく、あくまで当院における見解です。

絶対的な基準ではなく、個々の患者さんに合わせて可能な範囲での適応をしていきます。みなさまにご理解、ご協力をいただき、出来るだけリスクの少ない状況で、必要な診療を行うことを目指しています。

ご不明な点がありましたら、スタッフにお問い合わせください。よろしくお願いいたします。